

原市場聖書教会

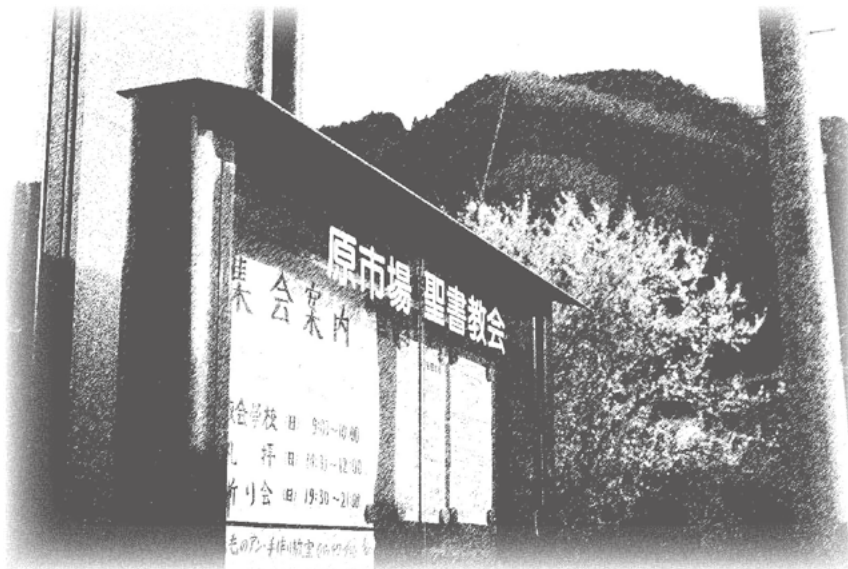
NO. 790

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 5. 24

主日礼拝

2020年 5月 24日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：若村めぐみ姉
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：司会者

賛	美	「スピリットソング」	—	同
祈	り		司 会	者
今月の賛美		「父の神の真実」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌392番「神はひとり子を」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			司 会	者
賛	美	聖歌423番「つげよ主に」	—	同
聖書朗読		ローマ8章18節～25節	司 会	者
説	教	「今の時の苦しみに勝る望み」	若村和仁師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌528番「いまだ見ぬ地」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若村和仁師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会	者

●礼拝後の昼食会は
コロナ終息までお休みとします。



「今の時の苦しみに勝る望み」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

ローマ8章18節～25節

18, 今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。

19, 被造物は切実な思いで、神の子どもたちが現れるのを待ち望んでいます。

20, 被造物が虚無に服したのは、自分の意志からではなく、服従させた方によるものなので、彼らには望みがあるのです。

21, 被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由にあずかります。

22, 私たちは知っています。被造物のすべては、今に至るまで、ともにもうめき、ともに産みの苦しみをしています。

23, それだけでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだを贖われることを待ち望みながら、心の中でうめいています。

24, 私たちは、この望みとともに救われたのです。目に見える望みは望みではありません。目で見ているものを、だれが望むでしょうか。

25, 私たちはまだ見ていないものを望んでいるのですから、忍耐して待ち望みます。

今月の賛美

1 父の神の^{しんじつ}真実は

とこしえまで変わらず

^{いづく}慈しみと^{あわ}憐れみは

つきることありません

2 春も秋も^{なつふゆ}夏冬も

^{そら}空の星も太陽も

声を合わせ語り合う

父の愛の備えを

(くりかえし)

素晴らしい主 その^{しんじつ}真実は

朝ごとに新しく

深い恵み知らされて

讚美します主の^{みな}御名

3 罪を^{ゆる}赦し平安を

主は与えて^{はげ}励まし

力に満ち祝福に

あふれさせてくださる

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいただいたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

●先週の内容を振り返ります。

「キリストと共に苦難から栄光へ」

1. 肉の欲望を切り捨てる苦しみを惜しんではならない。
2. キリストと共に歩み味わう苦難は、神の相続人の印
3. 神に仕え善を行う苦難は必ず栄光へと変えられる。

今日の御言葉は続けて、今の時のいろいろな苦しきは、将来天の御国へ入れられる栄光に比べれば、取るに足りないと言われています。

私たちは、何をすることも最初は苦しみが伴います。何かを極めようとするとき、何度も失敗をします。時には、苦しみに耐えなければならないこともあります。しかし、それを乗り越えた時に、今までの苦しみを感謝できるものになれるのです。

それと同じように、私たちの罪との闘いも、苦しみをなくしては、罪から離れることはできないのです。しかし、その苦しみを一人でやれとは神様はおっしゃらないのです。神様ご自身が寄り添い共に苦しみその罪に勝利の道を与えて下さったのです。本日はこの今の苦しみの意味と、その先の希望に目を向けていきたいと思えます。

1. 今の罪（欲望）との闘いの苦しきは、将来与えられる栄光への道を歩み始めているしるし。

今現代を生きる私たちは、聖書を通して、将来与えられる栄光を垣間見ることができるのです。信仰の大先輩たちが罪との闘いを御言葉を通して知ることができるからです。欲望に流された者は滅び、罪との闘いをイエス様にゆだねた者は救いを受け栄光を見たのです。

私たち一人一人が罪（欲望）があることを認め、その弱さをイエス様の前に素直に差し出すとき、私たちは、救われるのです。そこにはもちろん表面的な快楽から離れなければならない。プライドがいったん打ち砕かれるという苦しきは伴うのですが、イエス様の十字架の前に罪を差し出す苦しきは必ず栄光に変えられるのです。

2. 被造物も神の子どもたちの表れを待ち望んでいる。

この御言葉を読みますと、被造物も罪を犯したのか？と疑問がわかないでしょうか。なぜ被造物が神の子どもたちの表れを待ち望んでいるのか？それは、被造物も人間が罪を犯した結果、「虚無」に苦しんでいるというのです。しかもそれは、被造物が悪いのではなく、その苦しみが与えられたのは、服従させた方（神様）によってなのです。しかし、その神様によって「被造物」も望みがあると語るのです。この方る意味を理解するには、創世記の世界の創造の原点に立ち返る必要があります。創世記には「初めに神が天と地を創造したから始まり、最後に人を創造した」ということが書かれています。その中で、創世記1章28節には「神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「産めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ。」とあります。神様は人間に被造物を「支配せよ」（正しく管理せよ）と仰せられたのです。しかし人間は罪を犯し神様から離れ、正しく管理できない状態へと陥ったのです。実際現代でも人間の欲望の結果自然環境を破壊し、被造物ももたえ苦しんでいる姿はニュースでよく見させられます。特にここ最近の大きな出来事は、温暖化が原因で起こったオーストラリアの森林大火災でした。たくさんの野生動物が命を落としたのです。人間が環境を破壊した結果被造物を苦しめる部分も多くあるのです。しかし、人間が変われば、人間が罪から離れ、神様に目を向けるようになれば、21節にあるように「被造物自体も、滅びの束縛から解放される」のです。

3. 私たちの罪との闘いを乗り越える秘訣は、キリストの贖いの十字架と復活、やがて来る再臨（終末的救いの完成）にある。

ここ最近キリスト教系の異端が熱心に活動しているので要注意という情報が良く流れてきます。一見同じクリスチャンでおなじ御言葉を読んでいるように迫ってきますが、自分たちに都合の良い御言葉だけをピックアップし、祈りの最後に「イエスキリストの名によって」とは言わないそうです。偽物は、再臨の日時にこだわります。また、再臨の主はもうすでに来ている。それは「だれだれだ！」と宣言したりします。

私たちは、再臨（世の終わり）が実際に来るまでいつ来るのかなどもわからないと御言葉には書いてあるのです。マタイ24章36節「ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも知りません。ただ父だけが知っておられます。」とあるのです。

再臨の日時を指定したり、特定の宗教者を再臨の主だと唱える教えは真実の希望ではないのです。私たちは、キリストの救いの完成の望みを信じる信仰によってもう救われているのです。御国に行く約束は与えられているのです。しかし、その完成を目指して私たちは、キリストと共にまだ見えないゴールを目指して感謝し成長させられていく者でありたいです。イエス様を模範とし、イエス様にゆだね歩み始める時にこそ、目に見えない望みをこの地上でも味わうことができるのです。

●まとめ「見えない望みの祝福」

1. 見えない望み（キリスト）に従って与えられた苦難は希望へと変えられる。
2. 私が罪を主に告白し救いを受け変えられれば、隣人も祝され、被造物も祝福される。
3. 目に見えないからこそ求め続けられる望み。

このことを私たち忘れずに新しい一週間も、望みを見て神様と共に歩めるよう祈ります。

原市場聖書教会牧師 若村和仁

報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

☆引き続き5月もコロナウィルス対策として、平日の集会、家庭集会はお休みとし日曜日の礼拝はおこないますが、賛美は一節のみ、聖餐式はお休みいたします。その他の各集会は5月末までお休みとしますが、状況によって さらに延長する可能性があります。またその都度ご連絡いたします。

体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。

☆礼拝中の席は、お隣とひと席空け、ゆとりをもってお座りください。

★イースター献金の集計ができました。65,000円献げられました。

感謝をもってご報告いたします。

先週の newcomers

○横山^{れな}零樹さん (飯能聖園教会会員)

5月の誕生日

10日 若村めぐみ姉 14日 本多こずえ姉

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・5月25日～29日 (月～金) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所：高麗聖書教会)
- ・5月28日 (木) hi-b.a. 所沢オンライン集会 (場所：オンラインにて)
- ・5月29日 (金) hi-b.a. 川越オンライン集会 (場所：オンラインにて)

本日午後の予定

☆礼拝後の昼食会はコロナ問題が落ち着くまでお休みいたします。

次週 (5月31日<日>)

司 会：本多崇兄

聖 書：□-マ8章26節～39節

説 教：「神が私たちの味方」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：「あなたがすべて」 今月の賛美「父の神の真実は」

聖歌501、聖歌520、聖歌508、聖歌383

受 付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：司会者

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
5月17日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	4人			4人
	礼 拝	3人	6人	10人	19人
		(礼拝はオンライン参加者9名を含む)			
	夕 礼 拝		お休みでした。		
5月20日(水)	祈 り 会		お休みでした。		

集会案内

5月27日(水)	祈 り 会	お休みいたします
5月31日(日)	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

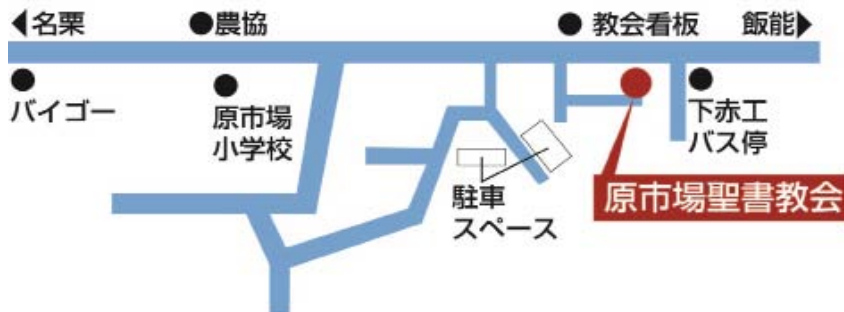
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッススペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-980-6442

牧師:若村和仁